

黒潮町の小中学校における 津波防災教育の 実践事例集

本書は、

黒潮町の小中学校で実施されてきた津波防災教育の実践例うち、

命の教育の観点も含んだ実践事例

を掲載しています。

本書では、黒潮町における津波防災教育の実践事例をまとめたものである。そのなかでも、黒潮町津波防災教育プログラム（案）でも掲げている“命の教育”の実施という観点に基づき、“命の教育”を含んだ実践事例をまとめました。学習指導案の作成の際にご参考ください。

目 次

No.	対象学年	ねらい	実践校	掲載ページ
1	小学校 2年生	『命の尊さに気づき、大切にしようとする心情を育てる。』	上川口小学校	資料 3-2
2	小学校 3年生	『相手の気持ちや立場を考えて、進んで親切にしようとする心情を育てる。』	佐賀小学校	資料 3-4
3	小学校 4年生	『わたしたちの生活を支えてくれるすべての人たちに感謝しようとする心情を育てる。』	佐賀小学校	資料 3-5
4	小学校 4年生	『学校の役割を知り、自分たちの学校に対して誇りを持ち、学級や学校を愛する』	入野小学校	資料 3-6
5	小学校 3・4年生	『自ら判断して、行動することの大切さを知る』 『地震に対する避難の仕方などを日頃から家族と話し合っておくことの大げさを知る』	拳ノ川小学校	資料 3-7
6	小学校 5年生	『かけがえのない命を大切に、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。』	南郷小学校	資料 3-9
7	小学校 6年生	『自分たちの生活が、人々の支え合いや助けで成り立っていることに感謝し、それにこたえようとする心情を育てる。』	佐賀小学校	資料 3-11
8	小学校 5・6年生	『地震だけでなく津波発生メカニズムを知り、避難に生かす。』	伊与喜小学校	資料 3-13
9	中学校 2年生	『災害対応場面で、どのように行動が出来るかを話し合い、日頃から出来ることを考える。』	佐賀中学校	資料 3-14

1. 実践事例 小学校 (1)

■授業概要

対象学年	小学校2年生
ねらい	命の尊さに気づき、大切にしようとする心情を育てる。
備考	実践校：上川口小学校 実施時間：道徳 資料出典：「たんじょう日」3-(1) 生命の尊重（『みんな たのしく』東京書籍） 準備物：写真、拡大の挿絵、パワーポイント、手紙、ワークシート

■授業構成

	学習活動	主な発問 (◆) と 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
導入	1 自分が生まれたときの、家族の願いについて話し合う。	◆自分が生まれたとき、お父さんやお母さんたち家族は、どんな子に育ててほしいと考えたでしょうか。 ◇元気な子どもに育ててほしい ◇優しい子どもに育ててほしい	◎ワークシートに事前に記入した内容をもとに親の願いに思いを向け発表するようにする。
展開	2 「たんじょう日」を読んでなつこやお母さんの気持ちを考える。	◆なつこは、自分のたんじょう日をどんな気持ちで迎えていたでしょうか。 ◇うれしい ◇プレゼントは何か ◇早く誕生日がこないかと楽しみに待っていたよ ◆お母さんは、どんな気持ちで保育器の中にいるなつこを見つめていたのでしょうか。 ◇助からなかったらどうしよう ◇大丈夫かな ◇自分の子どもを抱けないのがさびしい ◇早く保育器の中から出てこられるといい ◇お乳をたくさん飲んで早く大きくなってほしい	◎自分の誕生日を迎えたことを思い出しながら発表できるようにする。 ◎お母さんの気持ちになって考えるようにする

	学習活動	主な発問（◆）と 予想される子どもの反応（◇）	指導上の留意点（◎） 評価のポイント（※）
展開	3 命の大切さについて話し合う。	<p>◆お母さんの話を聞いたなつこは、どんなことを考えたでしょうか。</p> <p>◇大きく育ててくれてありがとう</p> <p>◇苦勞して育ててくれた</p> <p>◇心配かけないようにしよう</p> <p>◇命を大切にしよう</p> <p>◆「とてもすばらしいプレゼント」とは、何でしょう。</p> <p>◇命のプレゼント</p> <p>◇大切に育ててくれたお母さんの気持ち</p> <p>◆「命って大切なんだ」と思ったことはありますか。</p> <p>◇妹が生まれたとき</p> <p>◇お母さんのおなかの赤ちゃんのことを家族で話すとき</p> <p>◇おばあさんが入院していて心配したとき</p>	<p>◎ワークシートになつこの考えたことを書いて発表するようにする。</p> <p>※愛情いっぱい育ててくれたお母さんに心から感謝しているなつこの気持ちに共感できたか。</p> <p>◎物のプレゼントではなくて、なつこの命を大事に育ててくれたお母さんの気持ちを理解できるようにする。</p> <p>◎自分の命と同じように、一人一人の命が大切にされていることを感じられるようにする。</p> <p>※「命って大切なんだ」と思ったことを想起することができたか。</p>
まとめ	4 命の大切さについて、東日本大震災の支援活動に行った保護者の手紙を聞く。		

■板書計画

挿絵

たんじょう日の
すばらしいプレゼント

いのちのプレゼント

話を聞いたなつこの気持ち
大きく育ててくれてありがとう
いのちをたいせつにしよう

保育器
四十日

挿絵

お母さん

- ・たすからないかも
- ・だけないのがさびしい
- ・早く元気になって

なつこがうまれたとき

たんじょう日

わたしやぼくがうまれたとき

- ・元気な子に
- ・やさしい子に

2. 実践事例 小学校 (2)

■授業概要

対象学年	小学校3年生
ねらい	相手の気持ちや立場を考えて、進んで親切にしようとする心情を育てる。
備考	実践校：佐賀小学校 実施時間：道徳 準備物：写真、アンケート、挿絵 資料出典：スーパーの店先で（埼玉県道徳教育指導資料「心の絆」）

■授業構成

	学習活動	主な発問 (◆) と 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
導入	1 東日本大震災の影響で、物が自由に買えなくなった状況を振り返る。	◆この写真の人はなぜ並んでいると思いますか。 ◇何かの安売りがあるから。 ◇新しいものが発売されたから。 ◇売り切れるから。	◎写真を見せ、物の買占めが起こったことや、必要なものを買うために店には長蛇の列ができたことを知らせ、資料への関心を高める。
展開	2 資料を読んで話し合う。	◆お母さんから募金を勧められたのにできなかったのは、ぼくのどんな気持ちからだと思いますか。 ◇恥ずかしい。 ◇別にしなくてもいい。 ◆困っている男の人を見たとき、ぼくはどんなことを考えていたのでしょうか。 ◇買わしてあげたらいいのに ◇みんな2本しか買えないからしかたない。 ◇かわいそうだな。 ◇ぼくのをあげようかな。 ◆男の人を見送りながら、ぼくはどんな気持ちになったのでしょうか。 ◇渡せてよかった。 ◇いいことしたな。 ◇喜んでくれてよかった。	◎自分ならどうか考えさせるとともに、募金することの恥ずかしさや戸惑いに共感させる。 ◎ワークシートに書かせることで、思ったことを整理する。 ◎机間指導をして児童が書いたことをメモし、発表をつなげられるようにする。 ※相手の気持ちや立場を思いやることの大切さに気づいている。

	学習活動	主な発問（◆）と 予想される子どもの反応（◇）	指導上の留意点（◎） 評価のポイント（※）
まとめ	3 3年生の親切を紹介する。		※事前に、アンケートに親切にされたエピソードを書いてもらっておき紹介する。

3. 実践事例 小学校 (3)

■授業概要

対象学年	小学校 4 年生
ねらい	わたしたちの生活を支えてくれるすべての人たちに感謝しようとする心情を育てる。
備考	実践校：佐賀小学校 実施時間：道徳 資料出典：おにぎりとおみそしる（埼玉県道徳教育指導資料「心の絆」）

■授業構成

	学習活動	主な発問（◆）と 予想される子どもの反応（◇）	指導上の留意点（◎） 評価のポイント（※）
導入	1 のりがまかれていない小さなおにぎりとおみそしるの絵を見て感じたことを発表する。	◆わたしたちの生活を支えてくれる人について考えよう。	◎これが一食分の食事であることを押さえる。
展開	2 資料を読んで話し合う。	◆何日間も、おにぎりとおみそしるを食べていた私は、どんな気持ちだったのでしょうか。 ◆梅干しの入ったおにぎりや野菜のおかずが付いたご飯を見たとき、どんな気持ちになったのでしょうか。 ◆笑ってご飯を食べているわたしは、どのようなことを考えているのでしょうか。	◎毎日同じもので、あきるという気持ちと、食べるものがあることだけでも感謝したいという気持ちの両方に共感させる。 ◎おかずが付いてうれしい気持ちと、ご飯を作ってくれた人への思いをとらえさせる。 ◎当たり前のような生活が送れることのうれしさと共に、生活を支えてくれた人への感謝の気持ちを押さえる。
	3 今までの自分を振り返る。	◆みなさんの生活は、どのような人に支えられていますか。	※自分の生活を支えてくれている人に目が向けられたか。
まとめ	4 今日の感想を書く。		

4. 実践事例 小学校 (4)

■授業概要

対象学年	小学校 4 年生
ねらい	学校の役割を知り、自分たちの学校に対して誇りを持ち、学級や学校を愛する心情を育てる。
備考	実践校：入野小学校 準備物：心のノート、読み物資料

■授業構成

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
導入	1 入野小学校の写真を見ながら発表する	◆自分たちの学校には、どんな紹介したいことがあるか。	◎事前に校内を調べさせておく
展開	2 資料を読んで話し合う	◆学校が避難所となったとき、 どんな風に過ごすのかな？ ◆どんなことが大切なのかな ◇あいさつ ◇ルール	◎備蓄品をおいている入野小学校の役割について知る ◎普段の生活で大切にしていることと同じ ◎普段の生活を大切にする
まとめ	3 学校を避難所としていた被災地の話を聞く		

5. 実践事例 小学校 (5)

■授業概要

対象学年	小学校3・4年生
ねらい	『自ら判断して、行動することの大切さを知る』 『地震に対しての避難の仕方などを日頃から家族と話し合っておくことの大げさを知る』
備考	実践校：拳ノ川小学校

■授業構成

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
導入	1 「津波てんでんこ」という言葉について考える 大きな地震が発生した場合、どうしたらよいかを考える	◆津波てんでんこという言葉聞いたことがありますか？どんな意味だと思いますか？ ◆大きな地震が起きたら、どうしたらよかったですか？ ◇学校にいた場合には、避難訓練の通りに行動する ◇自宅の場合、揺れから頭を守り、倒れそうな建物から避難する	◎“いざというときに、本当に逃げられるのか”という点に興味を持たせる ◎自宅にいても自分で判断して行動することの大げさを確認する。
展開	2 動画を見て、感想を交流する 3 様々な状況にあるときに地震が発生した場合を想像し、どうするかを考える	◆この動画は、東日本大震災のときに、岩手県釜石市に津波が襲来した時の様子を撮影したものです。感想などを発表してください。 ◇津波はとても強い、早い ◇逃げ遅れている人がいる ◆お風呂に入っていたときに地震があったらどうする？ ◇裸のまま逃げる ◇洋服を着て逃げる ◆寝ているときに地震があったらどうする？ ◇パジャマで逃げる ◇着替えてから逃げる ◆ペットが見当たらなかったらどうする？ ◇ほっといて逃げる ◇探す	◎津波がすぐそこまで来ているのに、避難している途中の人がいることをおさえる ◎“地震はいつどんな状況のときに発生するかわからない”ことをおさえる ◎頭ではわかっているけど、“すぐに逃げることのできない状況がある”ことをおさえる ◎“日頃から、そのようなときにどうしたらよいかを考えておくことが大切である”ことをおさえる ◎“お父さん・お母さんは、みんなが大事だから、みんなが『待つ』のであれば、きっと迎えにくる”ことをおさえる

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
展開	<p>4 「津波てんでんこ」の資料を読み、お父さんお母さんが迎えにきてしまったことを考える</p> <p>5 家族みんなで助かるためには、どうしておくべきかを考える</p>	<p>◆逃げようとしたときに、弟や妹が見当たらなかったらどうする？ ◇ほっといて逃げる ◇探す</p> <p>◆自宅に一人にいるときに、大きな地震が発生したらどうする？ ◇一人ですぐに安全な所へ逃げる</p> <p>◆大輝くんは、一人で逃げちゃったけど、これでよかったのかな？</p> <p>◆もし、大輝くんが一人で逃げられない子で、お父さんお母さんが迎えにきてしまったらどうなっていたでしょう？</p> <p>◆お父さん、お母さんが迎えにこないようにするためにはどうしたらよいでしょう？ ◇日頃から、別々の場所にいるときの避難方法を相談しておく</p>	<p>◎ “お父さん・お母さんは、みんなことが大事だから、みんなが『待つ』のであれば、きっと迎えにくる” ことをおさえる</p> <p>◎ “お父さん・お母さんが迎えにくるのは、みんなに「一人では避難できないのではないか」と思われているから” であることをおさえる</p> <p>◎ “避難方法を相談しておくことはもちろん重要だが、何より大事なことは、『一人でいてもみんなはちゃんと逃げる子』だとお父さん・お母さんに信頼してもらうことである” ことをおさえる</p>
まとめ	6 親子で授業の感想を交流し、授業をまとめる。	<p>◆授業を見て、お父さんお母さんはどんな感想を持ちましたか？</p> <p>◆みんなはどんな感想を持ちましたか？</p>	◎ “東日本の震災では、親が迎えに行ったらばかりに多くの震災孤児をうんだことを知り、普段から家族と避難場所などについて相談しておくことの大切さを理解できたか？

6. 実践事例 小学校 (6)

■授業概要

対象学年	小学校5年生
ねらい	かけがえのない命を大切にし、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。
備考	実践校：南郷小学校 実施時間：道徳 資料出典：おばあちゃんからもらった命（きみがいちばんひかるとき 光村図書） 準備物：ワークシート、阪神淡路大震災の写真

■授業構成

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
導入	1 「命」という言葉から想像することを話し合う。	◆「命」という言葉から想像することを発表しよう。 ◇大切なもの ◇かけがえのないもの	◎想像することを自由に発表させる。
展開	2 「おばあちゃんからもらった命」を読む。		◎事前に阪神・淡路大震災や介護福祉士についての説明をしておき、より主題に迫れるように留意する。
	3 めぐみさんがノートに書きつづっている文章を想像する。	◆めぐみさんは、おばあさんのことを思い出して、どんなことをノートに書いたのだろう。 ◇ごめんね。助けられなかった。 ◇これからどうすればよいの。	◎悲しみを通り越しためぐみさんのどうすることもできなかった無力感をおさえる。
	4 父にはげまされためぐみさんの気持ちを考える。	◆お父さんに励まされて、めぐみさんはどんなことを考えたのだろう。 ◇くよくよしてはられない。 ◇おばあちゃんからもらった大切な命だ。 ◆遺族の代表としてあいさつしたとき、めぐみさんはどんな気持ちだったのだろう。 ◇おばあちゃんありがとう。がんばって生きていくからね。 ◇おばあちゃんの命を受け継いでいきます。	◎お父さんの励ましの内容をおさえ、おばあちゃんに助けられた命を大切にしなければならぬと気づいた心情をとらえさせる。 ◎前向きに生きていこうとするめぐみさんの姿を共感的にとらえさせる。

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
展開	3自分の命に言いたいことを書く。	◆「命を大切にする」とはどういうことだろう。 ◇精一杯生きていく。 ◇相手の事も大切にしていく。	◎自分の命をどう大切にしていくなかを短くまとめる。
まとめ	4教師の説話を聞く。		

7. 実践事例 小学校 (7)

■授業概要

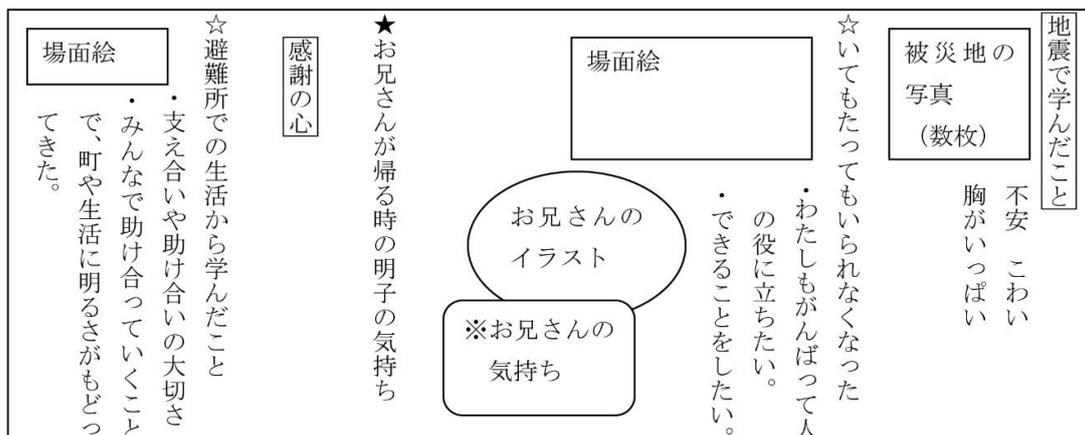
対象学年	小学校6年生
ねらい	自分たちの生活が、人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえようとする心情を育てる。
備考	実践校：佐賀小学校 実施時間：道徳 準備物：ワークシート、震災の写真、場面絵、電子黒板 資料出典：地震で学んだこと（6年生の道徳 文溪堂）

■授業構成

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
導入	1 震災の様子を伝える写真を見て、思ったことや感じたことを言い合う。	◇いつ見てもこわい。 ◇不安になる。 ◇黒潮町にもそのうち来る。 ◆地震から学んだことは何でしょうか。	◎あまり時間をかけないように、口々に言わせるようにする。
展開	2 『地震で学んだこと』を読んで話し合う。	◆地震に遭った時、明子さんはどんな気持ちだったでしょう。 ◇不安 ◇こわい ◇胸がいっぱい。 ◇何をしたらいいのかわからない。 ◆明子さんはなぜ、いてもたってもいられなくなったのでしょうか。 ◇遠くから来た人たちががんばっているのに、自分はこのままでいいのだろうか。 ◇わたしもがんばって人の役に立ちたい。	◎導入で提示した写真をおさえながら、よりイメージを持ちやすくする。 ◎場面絵を提示し、働く人たちを見つめる明子さんの気持ちに注目させる。 ◎お兄さんはどのような気持ちでボランティアをしていたのかも考えるようにする。 ◎お兄さんとの関わりが明子さんの気持ちが変わっていくきっかけになったことをおさえる。 ◎当時の交通網の混乱のことを伝え、お兄さんの強い気持ちもおさえさせる。

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
展開		<p>◆お兄さんが帰る時、明子さんはどんな気持ちになったでしょうか。</p> <p>◇今までありがとう。</p> <p>◇私も人の役に立ちたい。</p> <p>◇自分も、今できることをしていこう。</p> <p>◆避難所での生活を通して、明子さんはどのようなことを学んだでしょうか。</p> <p>◇みんなで助け合っていくことで、町や生活に明るさをもどってきた。</p> <p>◇支え合いや助け合いの大切さ。</p> <p>◇みんなで力を合わせたら、地震も乗り越えることができる。</p>	<p>◎ワークシートに記入後、意見を発表し合う。その際、理由も付けるようにする。</p> <p>◎考えがまとまらない児童には、自分ならどんな気持ちになるか考えさせる。</p> <p>◎早く記入できた児童は、近くの友だちとワークシートを見せ合い、意見交換をするようにする。</p> <p>※明子の、人々の支えに感謝し、それにこたえようとする気持ちに気付いている。</p> <p>◎題名と関連付けて考えさせる。</p> <p>◎「子どもボランティア隊」の活動もおさささせる。</p> <p>◎明子さんの、被災直後からこれまでの気持ちの変化を心情円で示し、全体で確認し合うようにする。</p>
まとめ	3 日々の生活の中で、支え合ったり助け合ったりした経験について話し合う。		<p>◎心のノートP58、59を提示する。</p> <p>◎非常時だけでなく、普段の生活の中にも、たくさんの助け合いや支え合いがあることに気付かせる。</p>

■板書計画



8. 小学校 (8)

■授業概要

対象学年	小学校5・6年生
ねらい	『地震だけでなく津波の発生のメカニズムを知り、避難に生かす。』
備考	実践校：伊与喜小学校 準備：動画「津波からにげる（気象庁）」 ……気象庁のホームページから動画資料のほか、パンフレットなどがダウンロードできます。

■授業構成

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
導入	1 地震、津波について知っていることを出し合う。	◆地震や津波について知っていることはありませんか？ ・これから地震が起こる可能性があること。 ・東日本大震災のこと ・家の人が言っていたこと	◎児童が日頃から地震に関する情報を仕入れているか。
展開	1 動画「津波からにげる（気象庁）」を見る。 2 感想を出し合う。 3 いろいろな人を想定して、避難の呼びかけをする練習をする。	◇高いところへ逃げたことが命を救った。 ◇声を掛け合って避難ができた。 ◆共に避難するためにいろいろな人に呼びかけることをしてみよう。 ・お年寄り ・子ども ・地域の人など	◎「津波てんでんこ」の意味を確認する。 ◎どんな人に対しても避難を進めるように声かけをさせるようにする。
まとめ	1 授業の感想を共有し合う	◆日頃から地震が起きた時にどうしたらよいか家族で話していますか？ ◆今日は、お家の人とどんなことを話したいですか？	◎地震や津波は必ず起こることで、そのあと自分たちは何を考えて行動すればよいのか、確認させる。 ・揺れのあとの避難 ・家族との連絡方法 ・普段からの連絡

9. 中学校 (1)

■授業概要

対象学年	中学校2年生
ねらい	『災害対応場面で、どのように行動が出来るかを話し合い、日頃から出来ることを考える。』
備考	実践校：佐賀中学校 実施時間：学級活動

■授業構成

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
導入	1 今までの学習の振り返り。 <ul style="list-style-type: none"> • 備えて安心 (家庭の備え) • 非常用持ち出し袋について。 • アンケートから考える。 • 簡易タンカーの作り方。 • AEDの使い方。 • α米について。 • 避難訓練について。 		◎今までの学習を振り返る。 ◎今までの防災学習を振り返ることで自分たちの考えてきたことを思い出す。 ◎実際の作業や行動を行ったときの気持ちを思い出す。 ※生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもっている。 【関】(発言)(観察)
展開	2 これまでの学習では『備え』を中心に考えてきたことを確認するとともに、実際の災害場面でどのような決断をするか、自分の行動を考える。	◆【問1】あなたは運良く避難するとき非常用持ち出し袋を持っていくことが出来ました。避難所では食料を持っている人が少ないですが、あなたは袋の中の食料を食べますか？ (個人 → 全体 → 班)	◎「クロスロード」の問題を活用し、どう判断し行動するかを考え、災害時の判断の難しさを感じさせる。 ※◎自己の課題を見出し、解決法を考えている。 【思考・判断・実践】 (発言) (観察) ◎クロスロードの基本ルールで進めていく。(Yes) 食べるひとは赤、(No) 食べない人は青のカードをあげる。 ◎班員の意見を聞くとともに、自分の考えも伝える。相手の意見を批判しないことも伝える。

	学習活動	主な発問 (◆) 予想される子どもの反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価のポイント (※)
展開	3 災害対応場面で、どんな決断を下すのか、自分の行動を考える。(班で話し合う)	◆実際の写真をみてどのような場面かを考える。 (時間があれば) ◆【問2】部活が終わり、家まであと5分というところで大きな地震が発生！家も今いる所も津波の被害を受ける地域にあり、すぐ高い所へ逃げる必要がある。しかし、家で待っている家族の安否が気になります。あなたは、一度家へ帰りますか？	◎このスライドは阪神・淡路大震災の避難所であることを知る。 ◎避難場所での様子を想像する。 ※今まで学習したことは使えるか。 ※中学生ができることを考える。
まとめ	4 自分が普段から取り組もうと思ったことの確認。(事前)		◎自己決定した内容が達成できるように励ます。 ※場の状況を踏まえ、より良い対処法を考えている



平成 27 年 3 月

黒潮町教育委員会